

激戦

統一地方選

の住民の声を県政に届ける日本共産党が議席を守るかが焦点となっている。

部)初の議席を獲得。今回の県議選は、湖北地域

滋賀県議選長浜市区(定数4)で日本共産党は、杉本としたか氏(65) 〓現〓の再選をめざします。

県民の願い届け

同選挙区は杉本氏のほか、現職が自民党2、国民民主党1。元市議の立候補が見込まれるなど激戦が予想されます。日本共産党は、前回2015年の県議選で議席空白を克服することも、長浜市区で湖北地域(県北



長浜市区

大津市



政府交渉で要望する杉本氏(中央)。左は大門実紀史参院議員=21日、東京都千代田区

滋賀県議選 長浜市区(定数4)

杉本としたか候補(65)〓現

杉本氏は県議会で3年余、教育・福祉・農林水産業など幅広い分野で県民の願いを届け県政の不

湖北初の党議席守る

合理を追究。他会派の議員から「聞いていて『なるほど』と説得力がある」などの声が寄せられ、県庁幹部からは「鋭い追及だ」と称賛の声が出ています。最初の議会質問で「南高北低」と言われる県立施設の格差問題をとり上げ、長浜市区にある保健所の廃止や二つの特別養護老人ホームの民間移譲、プールの閉鎖、キャンプ場の廃止、高校の統廃合などを指摘し、三日月大造知事に迫りました。知事は「議員に思いを届けている県民の思いはしっかりと受け止めたい」とこたえました。

授業料免除拡大

初質問で取り上げた長浜ドーム(屋根付きグラウンド)の出入り口増設は、今年5月に実現しました。出入り口が1カ所しかないため、イベント終了時の車の渋滞が問題

となっていました。ドーム利用者から「これで便利になった」と喜ばれています。繰り返し取り上げることによって、県立高校のエアコン整備、県立大学の授業料免除の拡大などが前進しました。

杉本氏は琵琶湖海区漁業調整委員(8期27年)や県漁連会長を歴任。現在、朝日漁協組合長を務めています。議会ごとに琵琶湖漁業について取り上げ、7月議会では、2年続きで不漁となっているアユについて資源調査の精度を抜本的に上げるため、「集中的に予算も投入して試験研究を深め、効率的な対策を取る」ことが求められていると指摘。21日の政府交渉では、農林水産省に対し、「アユにかかわる試験研究の技術的援助、財政的支援をお願いしたい」と訴えました。

(滋賀県・浜田正則)